

英単語 パワーブック

これがネイティブの英語!!



八代京子
ジョンE.プロヴォ

三修社

英単語パワーブック 金

2001年10月10日 第1刷発行

著者 八代京子(やしろ きょうこ)
John E. Provo(ジョン E. プロヴォ)

発行者 前田亮治

発行所 株式会社 三修社

〒110-0004 東京都台東区下谷1-5-34

営業 03-3842-1711

編集 03-3842-1631

FAX 03-3845-3965

<http://www.sanshusha.co.jp/>

振替 00190-9-72758

編集担当 大越忠洋

印刷所 倉敷印刷株式会社

製本所 協栄製本株式会社

装丁— 岸孝之

編集協力— 古澤邦子

©Kyoko Yashiro / John E. Provo

2001 Printed in Japan

ISBN4-384-01854-1 C2082

® <日本複写権センター委託出版物>

本書の全部または一部を無断で複写(コピー)することは、
著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書
からの複写を希望される場合は、日本複写権センター
(電話 03-3401-2382)にご連絡ください。

英単語 パワーブック

これがネイティブの英語!!

金



八代京子
ジョンE.プロヴォ

三修社

— は じ め に —

英語の新聞、雑誌には教科書で習ったことがないような新しい表現がよく使われています。欧米のビジネスマンとの会話でも、耳慣れない表現をよく聞きます。別に特に難しい表現ではありませんが、知らなければ記事や会話の意味を読み取ることができません。そこで本書では、現在欧米で使われている最新のhipな(カッコいい)表現を取り上げて、解説しました。表現の理解を深め、使い方をつかんでもらいたいので、使用実例と会話例を数多く提示するようにしています。

上記の目的から、見出し語はすべて新聞、雑誌、テレビ、インターネット上で最近使用されはじめ、その使用が増加しているものを厳選しました。また、英語表現として味わいのあるもの、興味深いもの、ユーモアのセンスのあるものを重点的に選びました。本書に示した例文はほとんど原文の引用です。それに、筆者達が作成した軽快な会話例を豊富に掲載しました。

本書は、「ビジネス」と「生活」の2部からなっています。各部の見出し語はアルファベット順に並べられています。見出し語に続けて、使用上の安全性、意味、意味由来の解説、例文、会話例、類似表現、関連表現が載っています。読み物としても内容豊かですし、知っているとは断然得することばかりです。

使用上の安全性については、<safe>, <watch out>, <danger>のように見出し語の後ろに表記してあります。<safe>は、わたしたちでも安心して使ってよい表現です。<watch out>は「注意して使用せよ」ということで、親しい間柄での使用は問題ないけどフォーマルな場では避けた方が無難ですよ、というような意味です。<danger>は、使用するとき十分に注意する必要があります。つまり、ネイティブは会話にパンチを加えるために上手に使っていますが、外国人としてその表現をうまく使いこなすのはかなり難しい、という意味です。しかし、難しいだけに、うまく使うと効果が大きいとも言えます。また、安全性には、性差別、人種差

別を避ける、つまり **politically correct language** の観点が含まれています。特に米国では、「政治的に正しい」言葉を使用することが社会人に厳しく求められていますので、注意しましょう。

語句の意味については、できるだけ簡潔に日本語で示しました。中には、まだ意味がはっきり定着していないような表現もあり苦勞しましたが、その場合は代表的な意味を示しました。さらに、例文や会話例から意味の広がり把握できるよう配慮しました。例文と会話例にも日本語訳をつけています。

意味由来の解説では、どのような背景から、その表現がその意味で使われるようになったか、興味深い歴史・文化情報を紹介しました。

例文は新聞、雑誌、テレビニュースなどからの原文引用がほとんどですから、経済・社会面でのコンテキストを理解する必要があります。その点では、会話例の方が、より日常的な場面での使い方を取り上げています。

類似語、関連語は、見出し語と関連づけて知っておくと便利な表現を示しました。ジョークやユーモラスな表現もここで紹介しています。

本書は『英単語パワーブック 金』『英単語パワーブック 銀』と合わせて2部作で構成されています。参照ページにたとえば(→銀 p.10)と記述してあれば、それは『英単語パワーブック 銀』の p.10 を指します。どちらか1冊に納得されましたら、もう1冊もお読みくださると、著者の意図するところの全体がお伝えできると思います。

本書を読んで、英語表現の意外な簡単さ、そして、楽しさと力強さ味わっていただければ幸いです。

2001年9月

著 者

C o n t e n t s

第1章 ビジネス

7

第2章 生 活

73

第1章 ビジネス



a proven track record

◆業績, 実績, 成績記録

■ 解 説

track record はもともとは「(競馬または陸上競技の) 成績記録」のこと。競馬の予想表 (tip sheet) には出走馬の過去のレース結果・成績 (track record) が載っている。ビジネスでも個人・企業の track record というと「業績」のことだが, proven (証明済み) をつけることで, より堅実に実績をあげていることを強調している。もちろん新卒の者は no track record ということになる。

● 会話例

- A: So, who do you think we should hire for the position in the advertising department?
- B: The Stanford MBA seems very bright, but she's got no track record. There's nothing on her CV to prove she can really do the job.
- A: You're right, we can't gamble on this. We need someone with **a proven track record**.

- A: 広報部に誰を採用すべきだと思う?
- B: スタンフォードのMBAを持っている彼女はかなりできそうだけれど, 実績がないんです。履歴書には実際に仕事ができるかどうか証明できるものが何もない。
- A: そうだね, ここでかけをするわけにはいかないし。実績のある人がほしいね。

■ 類義語

英語で「履歴書」は次のようにいう。
[curriculum vitae]

[CV] curriculum vitae の略

[resume]

[Résumé]

a trade-off <safe>

◆トレード・オフ,
(より必要とされるものの) 交換, 妥協

解 説

両方手に入れることは無理なので、何かを別のものとtrade (取引), exchange (交換) することから。すべてを手にすることはできない、何かをあきらめなければほしいものは手に入らないということ。ほかとの兼ね合いをみて決める、どちらか一方をあきらめる、妥協すること。

●例文 1

When using a digital camera there is a **trade-off** between image quality — slightly lower with digital cameras — and the time needed to actually see the images. Digital camera users agree that the **trade-off** is acceptable.

デジタル・カメラを使うとき、画質(少々劣る)と映像を実際に見るのに要する時間との兼ね合いがある。デジタル・カメラのユーザーは、この妥協は受け入れられる程度のものであると思っている。

●例文 2

In hiring new personnel there is often a **trade-off** between experience and education. You want people with education and experience, but you can't always have both.

新入社員の採用に当たって、経験をとるか学歴をとるか、しばしば妥協が生じる。教養と経験を併せ持つ人材がほしいのだが、いつも両方というわけにはいかない。

その他の表現

[you can't always have both] いつも両方得られるとは限らない

We would like to hire people with good education and experience, but **you can't always have both.**

教養と経験のある人物を採用したいのだが、いつもそういうわけにはいかない。

[you can't always have it both ways] いつも両方得られるとは限らない

Consumers want products that are both cheap and high quality, but **you can't always have it both ways.**

消費者は安くて品質のいい製品をほしががるが、いつも両方そろったものを得られるものではない。

[you've got to choose one or the other] どちらかを選択しなければならない

You can't have both, so **you've got to choose one or the other.**

両方はだめなんだからどっちか選んでね。

[compromise] 妥協する, accept less than you want (望み通りでなくても) ということ

You either have to **compromise** on quality or on cost. You can't have both.

質か値段かどっちかあきらめなさい。両方は無理よ。

a wake-up call <safe>

◆警告, 注意信号

意味

I'd like a **wake-up call** at 6 a.m. please.

(朝6時にモーニングコールお願いします)

と、ホテルで朝、電話で起こしてもらう wake-up call から。

If you don't wake up and start working harder you're going to lose your job.

(目を覚まして一生懸命働き始めないと、君の仕事はもうないよ)

Wake up! は Pay attention! を意味することもある。wake-up call は、何かがうまくいっていないことを知らせる信号、兆候、警鐘、警報のこと。

●例文 1

The recent unusual weather all over the world has been a **wake-up call**. Many people have realized that global warming is a serious problem.

最近、世界中でみられる異常気象は警告だ。多くの人が地球温暖化は深刻な問題であることを認識した。

●例文 2

"Citicorp-Travelers' Merger a **Wake-up Call**" — headline in *The Daily Yomiuri*, April 8, 1998

シティコープとトラベラーズの合併は Wake-up Call である。

●例文 3

The recent Asian currency crisis has acted as a **wake-up call** to economists all over the world.

最近のアジアの通貨危機は世界中のエコノミストにとって危険信号になった。

その他の表現

[set off alarm bells]

The Asian currency crisis has **set off alarm bells** all over the world.

アジア通貨危機は世界中に警鐘を打ち鳴らした。

[send a warning]

The Asian currency crisis has **sent a warning** to economists worldwide.

アジア通貨危機は世界のエコノミストに警告を発した。

[Wake up and smell the coffee.]

[pay attention to]

Pay attention to the warning signals.

警戒信号に注意するように。

alarm bells started going off <safe>

解 説

否定的な状況を言い表すのに用いる。機械が故障したときに警報ベルが鳴ることから派生した用法。Go off というと stop の意味に思いがちだが、ここでは鳴るという意味である。たとえば、飛行機の場合、「エンジントラブルが生じるとコックピットの中のベルが鳴る」を an alarm bell will go off in the cockpit と表現する。会話でこの表現を用い

るときは、「なんとなく何か問題が生じている」と感じ始めたという感覚を表す。

●例文

When Thailand experienced its currency crisis in July 1997, **alarm bells started going off** around the world. Economists realized that the event could have a global impact.

1997年7月にタイで通貨危機が起こったとき、世界中に警戒感が広がっていった。エコノミストたちはこの危機が世界に影響を与えることに気付いていた。

●会話例

- A: When did you realize that your husband was having an affair?
- B: It was in our second year of marriage that the **alarm bells started going off**. He would come home very late three or four times a week.

- A: ご主人が浮気しているといつごろ気付いたのですか。
- B: 結婚してから2年たったころから何だかおかしいと感じたんです。週に3、4回帰宅が深夜になることがありました。

その他の表現

[set off alarm bells] (cause alarm bells to go off) 警報を鳴らす

The Thai currency crisis **set off alarm bells** around the world.

タイの通貨危機が世界に警報を鳴らした。

[warning bells] 警報

The Thai currency crisis **set off warning bells** around the world.

[I could hear warning bells going off.] 警報が鳴るのが聞こえた（そのとき初めて問題が生じていることに気付いた）

[That should set off some alarm bells.] それで警報が鳴るだろう（その事態が危険性を予測させたはずだ）

A: I saw my fiancée in Shibuya with another man.

B: **That should set off some alarm bells.**

A: 僕の婚約者が別の男といるのを渋谷で見かけたんだ。

B: それは君の心に警戒信号を鳴らしただろうな。

big bucks

◆大金

解 説

buck は、It cost me a hundred bucks.（それは100ドルした）と、「ドル」の俗語として20世紀の初めごろから使われていたが、big bucks が「大金」という意味で使われるようになったのは、つい最近のことである。

●例文 1

Bill got a new job and he's really making **big bucks**.

■ ビルは新しい職を見つけて、大金を稼いでいる。

●例文 2

I like your new car, but it must have cost **big bucks**.

君の新しい車はすてきだね。でも、さぞかし大金をはたいたんだろう。

■その他の表現■

[megabucks] (100万ドル以上の) 超大金 mega-は, megahertz (メガヘルツ), megawatt (100万ワット, メガワット), megaton (100万トン, メガトン) など, 「100万」という意味の接頭語。

megabucks は, たいてい100万ドル以上の大金を指し, 正確な数字として使われることはない。

At age 23, Leonardo DiCaprio is already making **megabucks** for every film he appears in.

23歳でレオナルド・ディカプリオは, 映画に出演するたびに100万ドル以上の大金を稼いでいる。

Ichiro reportedly signed a **megabuck** contract with the Seattle Mariners.

イチロー選手はシアトル・マリナーズと100万ドル以上の高額契約を結んだということだ。(形容詞として用いた例)

big-ticket item

◆高額商品

■解 説■

ticket は「値札」。したがって big-ticket item は, 高額の値札が付いている商品のこと。一般家庭で big-ticket items といえば, 自動車, コンピューター, エアコン, 大型冷蔵庫などなど。